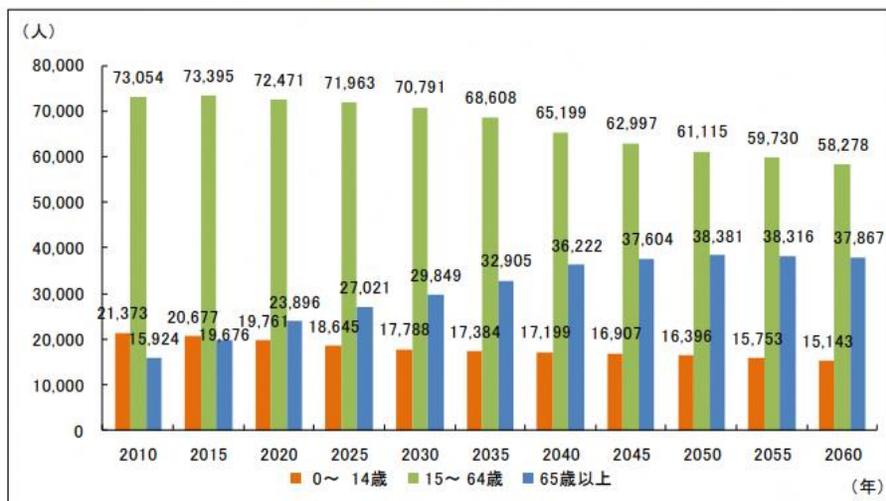


# 55歳以上のシニアの就労の現状

## 浦添市の高齢化の現状

浦添市は、平成29年3月時点で人口は113,568人、世帯数48,100世帯となっており、平均年齢40歳と沖縄県内でも比較的「若い(活力ある)町」として周知されています。しかしながら、本市においても高齢者並びに**高齢化率は増加傾向**であるとともに、少子化の進展により高齢者を支える年代の人口増加の動きは鈍化しており、今後傾向は継続していく見通しです。65歳以上の人口は、2010年の約15,900人から増加し、2020年には0～14歳人口を逆転、さらに2050年には2.4倍の38,000人となる見込みとなっております。これまで4.6人で一人の高齢者の社会保障を支えていたものが、1.5人まで低下することとなります。

年齢3階級別による人口見通し



※ 2010(平成 22)年は国勢調査に基づく実績値(年齢不詳を含まない)



## 浦添市の高齢者の就労状況の推移

平成27年の国勢調査によると、本市の就労している高齢者数は3,456人、浦添市の高齢者全体の10.4%にあたり、**就労している高齢者の割合は年々増加傾向**にあります。今後も高齢化の進展に伴い増加することが見込まれます。また、平成28年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」においては、地域づくり活動への参加意向においても、「是非参加したい」と「参加してもよい」の回答が半数を超えており、**社会参加意欲の高さが伺える**ため、こうした高齢者の活躍の機会を創出することは地域活力の創出にも資すると考えられています。

### 本市の高齢者の就労状況の推移図

	平成22年	平成27年
総労働者数(15歳以上)	88,553人	92,102人
高齢者人口(55歳以上)	28,984人	33,127人
就労している高齢者数(65歳以上)	2,297人	3,456人
→65歳～74歳	1,919人	2,812人
→75歳以上	378人	644人
就労している高齢者の割合	7.92%	10.4%
労働者全体に占める高齢者の割合	2.59%	3.75%

参考資料:平成27年国勢調査就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)  
 ※「就労している高齢者の割合」=就労している高齢者数÷高齢者人口  
 ※「労働者全体に占める高齢者の割合」=就労している高齢者数÷総労働者数